

中期経営計画

2025.4－2028.3

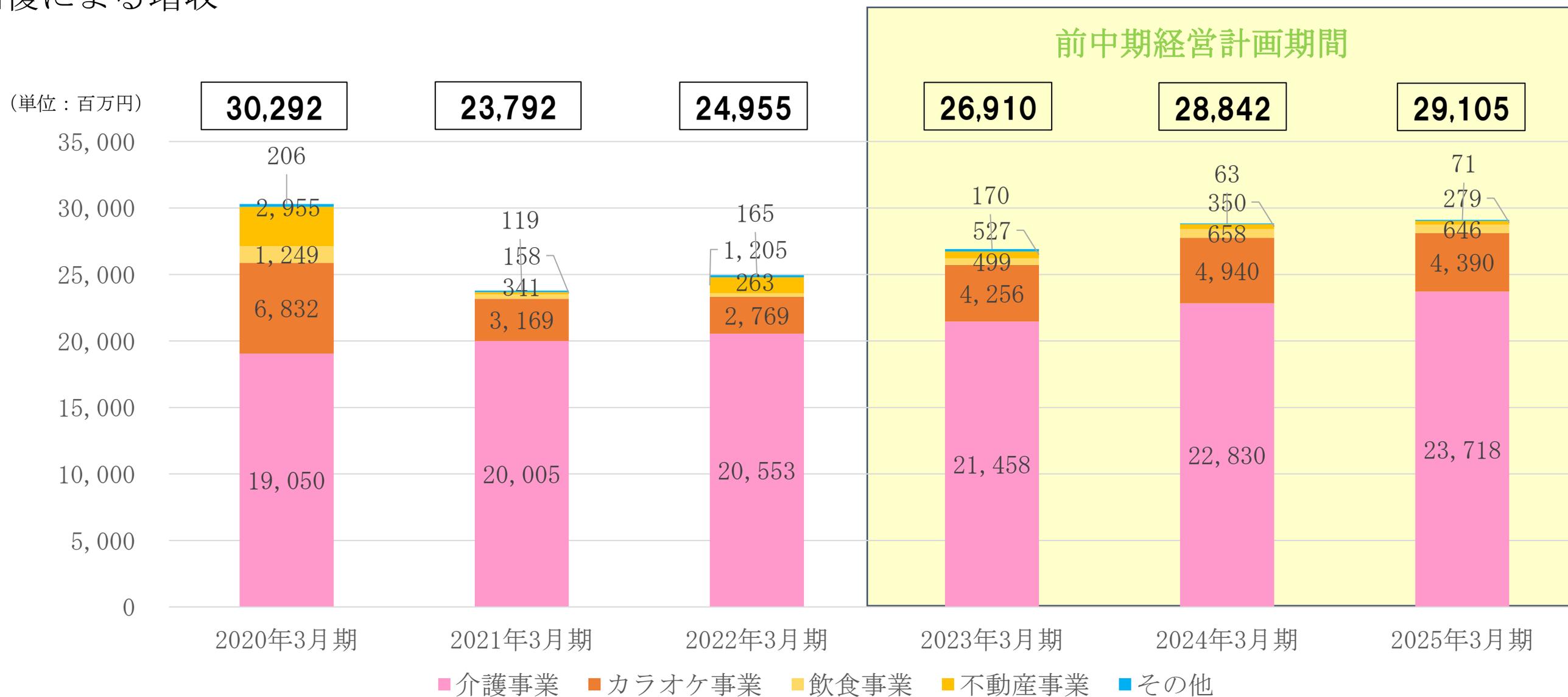
私たちの中期経営計画は、「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」の基本理念に基づいた「理念と哲学の実践型経営」を推進します。社会に調和しながら持続的な成長を実現するため、「サステナビリティ」に重心を置いた組織の構築を行います。

高齢化社会のニーズに応える介護事業の強化および周辺事業の新規開発を通じ、サステナブルな社会の実現に挑戦します。新規施設の開設および新規事業の開発等を通じて成長を目指します。



前中期経営計画期間の振り返り

感染症の拡大、まん延により消費者のライフスタイルの変化があるものの売上高は緩やかな回復による増収



事業環境の予測

【国内経済】

- ・ 不安定な海外情勢に基づく為替、原油価格等の変化
- ・ 労働人口の減少による経済成長への影響
- ・ 物価および賃金の上昇トレンド



【介護業界】

- ・ 高齢化社会の進展による需要の増加
- ・ 介護報酬改定に伴う経営環境の変化
- ・ 人材確保の困難化
- ・ ICT機器導入によるDX化対応

【カラオケ、飲食業界】

- ・ 消費者のライフスタイルの変化への対応
- ・ 人材確保の困難化

これからのテーマ

【成長戦略】

- ・ 人財の育成により、高いレベルでの社会貢献を目指す
- ・ 企業の成長を通じてステークホルダーの幸せを追求
- ・ 主力の介護事業をさらに強化し、他社との協業に取り組む
- ・ 既存事業に親和性のある新規事業の開発、拡大

【持続可能な成長への基盤作り】

- ・ S D G s の実現に対する部門別テーマに沿った取り組み
- ・ 社員の持続的成長をフォローする体制整備
- ・ 介護事業における社内認定資格の制定



成長戦略

新規事業開発

高成長分野への積極集中投資を行い、「介護の周辺事業」のうち、当社のコンセプトに合致するもの、既存事業とのシナジーのある事業の開発を進めていきます。

新規開設、出店

介護事業では、特定施設200床の開設を目指します。
カラオケ事業では、新規出店・既存店リニューアル・不採算店のスクラップにより安定的な成長を目指します。

既存施設、店舗の充実

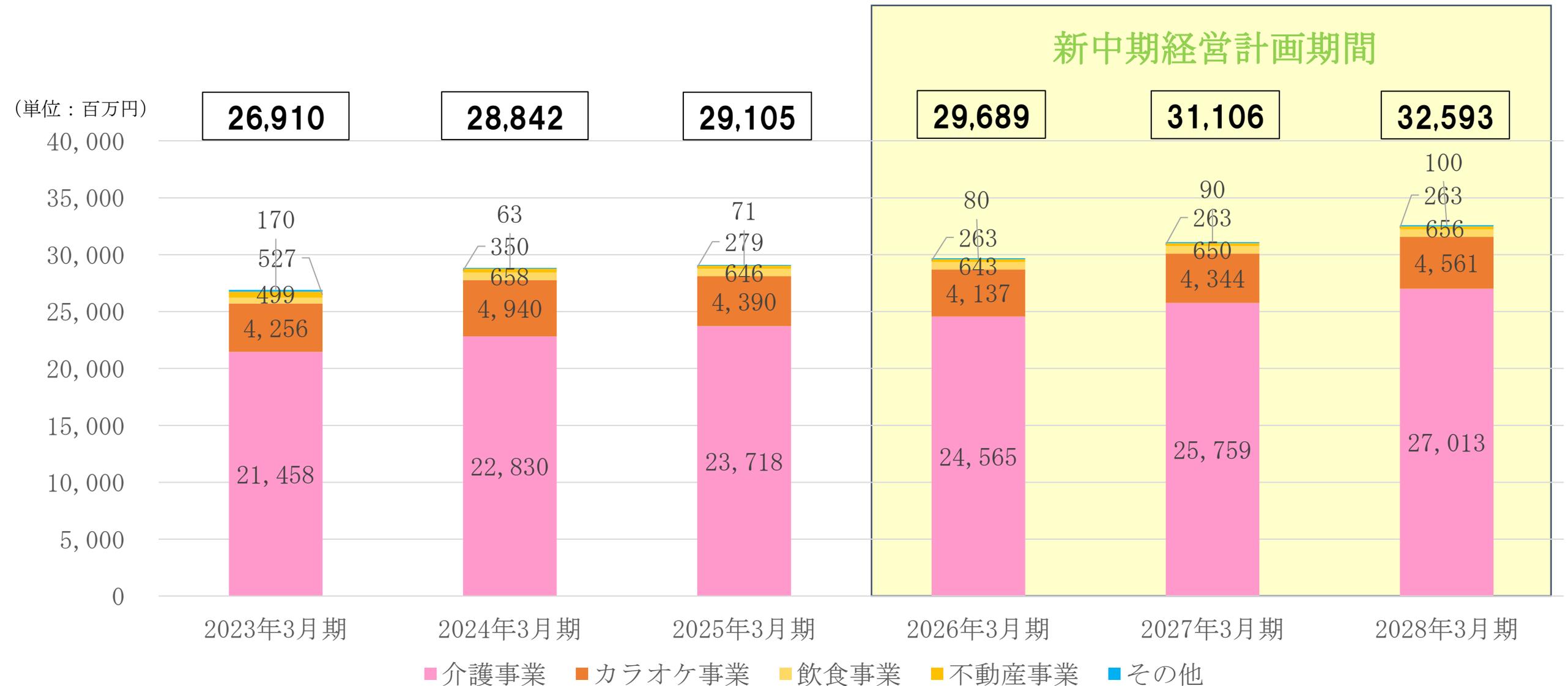
産学官連携を通じて、生きがづくり、口腔ケア、ITやロボット技術の活用などの各分野でQOL向上に繋がる取り組みを更に推進します。

成長戦略

高成長分野への
集中投資と
事業開発

成長戦略

介護事業における、新規開設または新規事業の成長による増収



介護事業の展開

【入居型施設の状況】

当社の重点領域である特定施設（介護付きホーム）は総量規制があり参入障壁が高い事業です。グループホームも認可制であり参入障壁は高い介護施設です。その他、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅も運営しています。

【今後の方向性】

利用者メリット高く、収益性の高い全国の特定施設を中心とした公募案件に応募し、展開を強化します。公募選定率は70%程度です。ICT、AI等を活用した機器やツールの導入により、ビッグデータを用いたオペレーションの効率化を進めます。

【産学官連携の推進】

口腔ケア、ライフマップ、ICT・DX技術の活用など、産学官連携による研究開発を進め、介護サービスの質の向上と業務効率化を実現します。介護に関連する新たなサービスを研究・開発し、収益性のある事業への発展を目指します。

介護事業における課題と対応策

【新規施設の開設における課題】

当社の重点領域である特定施設（介護付きホーム）の新規開設において、近年の建築資材価格の高騰や人件費の上昇により、新規介護施設の開設が困難な状況となっております。

【固定費・変動費の増加】

人件費、設備維持、食材費、エネルギーコストなど社会的なコスト上昇により、介護施設運営のコスト負担が増加しております。

【対応策】

特定施設（介護付きホーム）の新規開設については、M&Aへ積極的に取り組み、年間200床の開設を目指してまいります。

また、固定費及び変動費の増加については、電力の契約を最適化するための見直しを行いエネルギーコストの管理に取り組んでおります。

人件費の上昇については、企業価値、サービスの質向上に繋げる人的資本への投資と考え、教育、社内認定資格の充実を図り人材の育成に努めて参ります。

その他、ICT・DX化を進めることで業務の効率化に努め、各従業員がご利用者様へ提供するサービスに専念できる環境構築を進めてまいります。

産学官連携の取り組み



口腔ケア

九州歯科大学、北九州産業学術推進機構と連携し、「口腔保健衛生指導者」「口腔保健衛生管理者」の認定資格制度を新設しました。2025年3月末で口腔保健衛生指導者1,956名、口腔保健衛生管理者33名を育成。口腔清掃解除の重症度に応じた評価シート「SOCA」を開発しました。



ライフマップ

九州大学、北九州産業学術推進機構、生き方のデザイン研究所と連携し「ライフマップ」を開発、商品化しました。入居者のこれまでの「思い」とこれからの「願い」を対話型で可視化していくアセスメントツールです。



ICT、DXへの取り組み

介護記録と行動認識の自動化アプリ「Fonlog」を開発し、介護記録業務にかかる時間を約4割削減しました。2025年3月時点で72施設に導入完了。見守りセンサー付きマット「アンシエル」の導入により、利用者様の睡眠時間が改善しています。

※画像はイメージです。

産学官連携の取り組み



口腔ケア

口腔ケアに関する社内資格制度の合格者数

口腔保健衛生指導者 1,956名
口腔保健衛生管理者 33名

SOCA (Standardization of Oral Care Assistant) の開発

口腔の衛生状態や介助の重症度（必要度）に応じた口腔ケアを実施するための評価シート。色や図を多用することで直感的に必要な口腔ケアが判断可能に。

「グリシンうるおいナール」の商品化

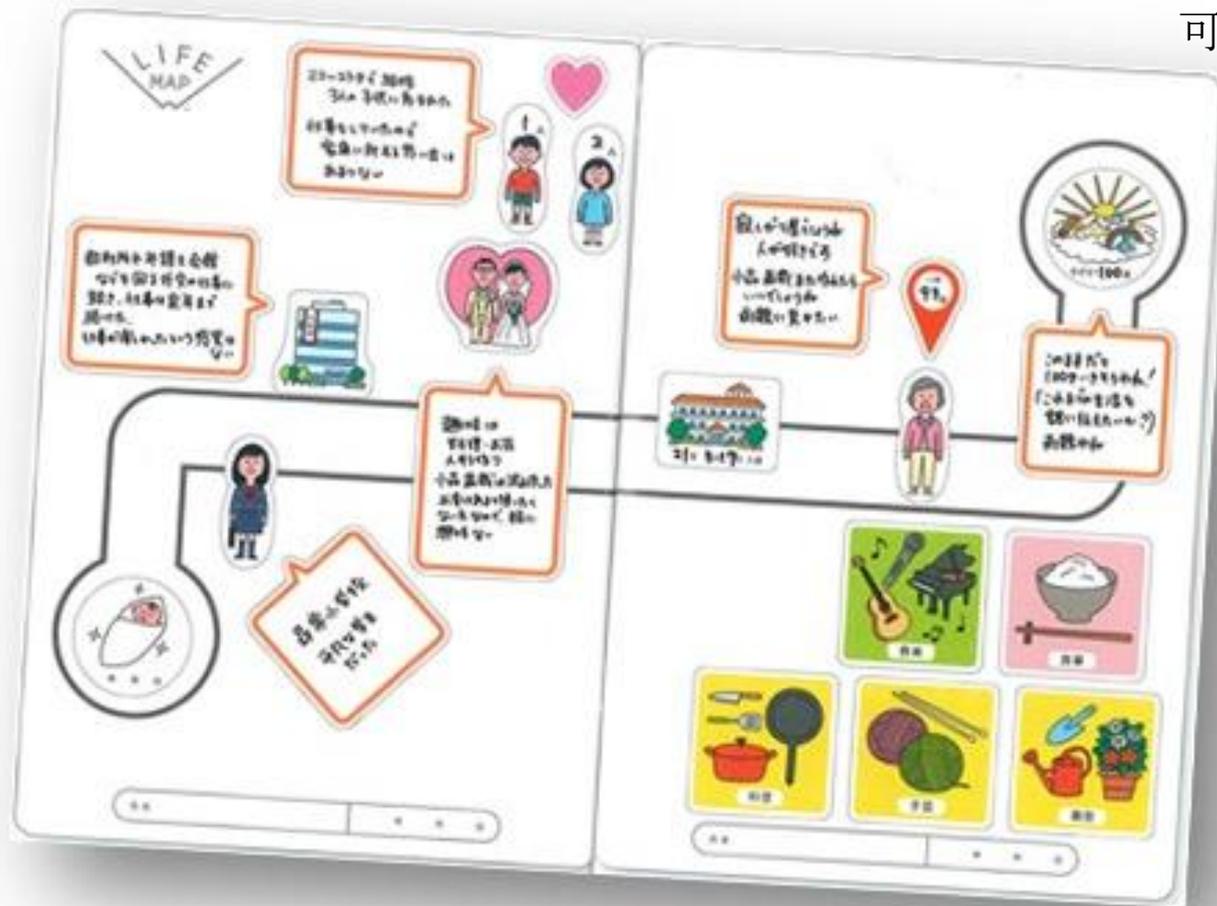
口腔内の細菌の発達を抑えるグリシンを用いて口腔内の環境を整える商品を共同開発。



産学官連携の取り組み

📍 ——— ライフマップの共同開発 ※ライフマップ・・・インクルーシブデザインの手法を取り入れて高齢者の生きがいをサポートするためのアセスメントツール

- ケアプランだけでは引き出せなかった入居者様の気持ちを引き出し、入居後の人生設計をご自身で作成・実践していただける。
- デザイン思考を取り入れた「イメージカード」で実現したい事柄を可視化し、ご本人の希望に近いライフプランを目指す。



ライフマップを用いて職員と一緒に人生を振り返りながら、これまでの生活や趣味、これからの人生への夢や思いをお聞きすることが生きがいや日々の生活目標の発見につながっています。

産学官連携の取り組み



ICT、DXへの取り組み

【記録システム「Fonlog」の開発】

※2025年3月現在、72施設にて導入済

行動センシングによる
行動認識

記録業務を自動化するスマートフォン用アプリ「Fonlog」開発により記録業務に必要な時間を約4割削減

導入施設の拡大

FonLogの導入施設拡大



システム統合

FonLogを他のシステムと連携、データ活用により社会的な課題解決をソリューション提供を目指す



※画像はイメージです。



産学官連携の取り組み



ICT、DXへの取り組み

【センサーマット「アンシエル」の活用】

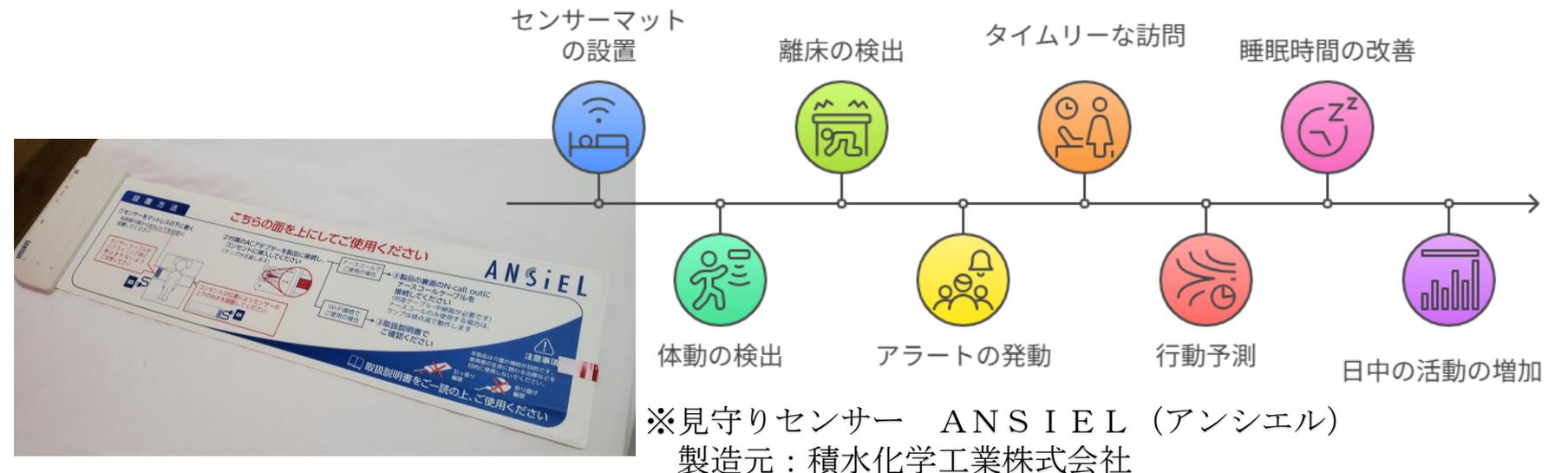
ご利用者様のベッドマットレスの下に見守りセンサー付きマット「※アンシエル」を設置することにより体動を検知離床を検知し発報することで適切なタイミングで訪室が可能となるご利用者様の体動をデータ化することで行動予測が行える

夜間帯の訪室を適切なタイミングで実施できることによりご利用者様の睡眠時間が1日あたり6時間だったところ7時間にまで改善

睡眠の質向上により日中の活動が活発に
※2025年3月現在、30施設にて導入済



※画像はイメージです。



社内認定資格

【目的】

スキルの可視化

社内認定資格制度を設計・構築する過程で、従業員が仕事をする上で必要な技術、知識、経験を整理し、可視化できます。

サービスの標準化

特定のスキルやプロセスを共通の基準で評価するため、サービスの品質や効率を向上させるのに役立ちます。

企業価値の向上

認定資格を取得した従業員は、組織の価値を高めることに寄与します。顧客やパートナーに対して信頼性を示すことができます。

ご入居者様のQOL維持・向上／Well-beingの実現

お客様側視点

介護の3大原則

- 「安全・安楽」
- 「個人の尊厳」
- 「自立支援」



スタッフ側視点



カラオケ事業の展開



ライフスタイルの変化 に対応

音楽ライブなど映像コンテンツ配信に対応した最新機種を導入を進めています。スマートフォンをモニターに接続できるキットの貸出やテレワーク施設としての活用PRも行っています。



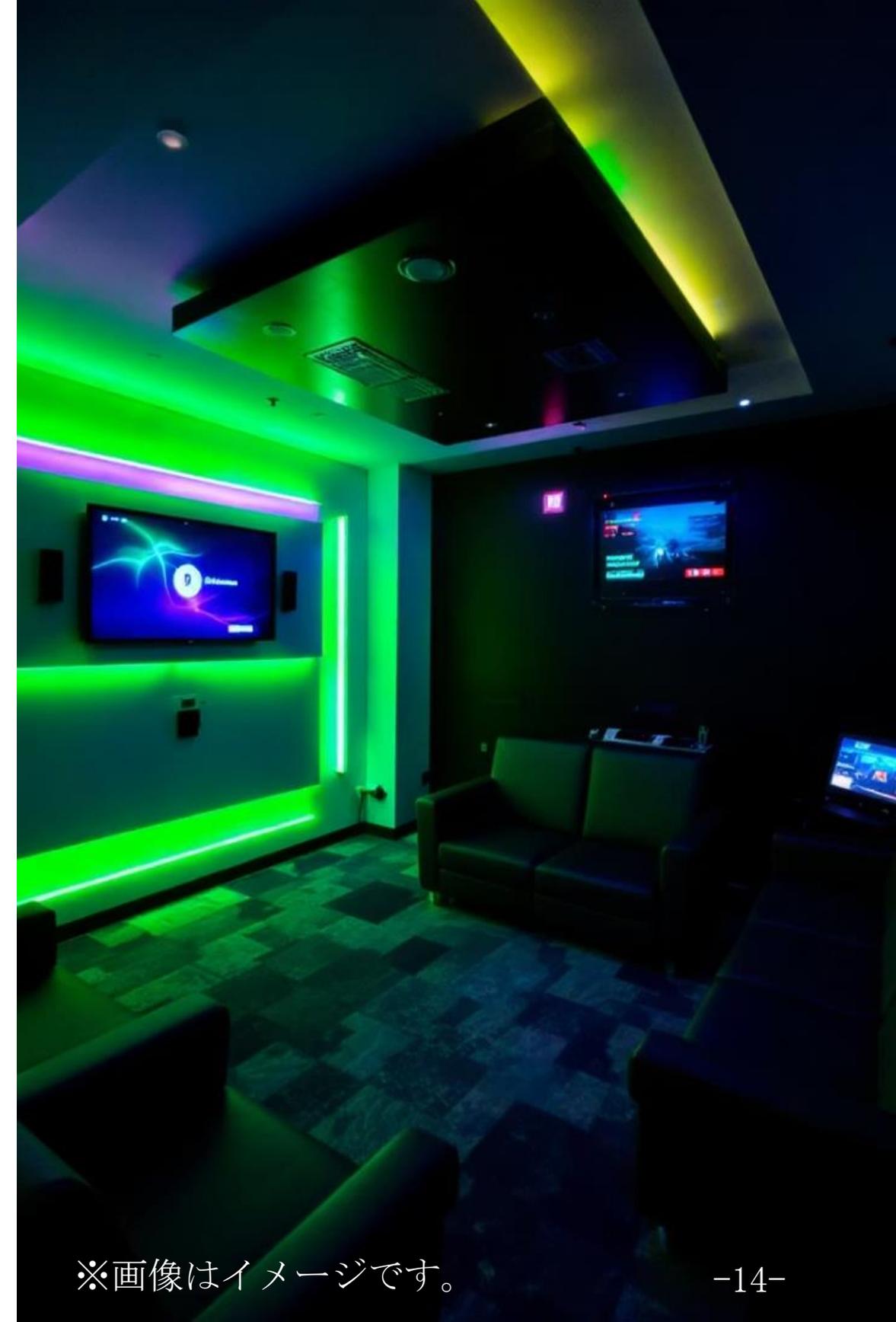
店舗展開の方針

新規出店・既存店リニューアル・不採算店のスクラップをバランスよく実施し、安定的な成長を目指します。大都市圏の需要縮小に対応し、今後は学生、シニアをターゲットに地方および郊外の出店を再検討します。



サステナビリティへの取り組み

女性が働きやすい環境を整備し、店舗管理者における女性社員の割合を全体の30%以上に増やします。SDGsを推進する担当者をエリア単位で1名以上選任し、各エリアで従業員にSDGsの考え方の浸透を図る機会を定期的に設けます。



※画像はイメージです。

サステナビリティへの取り組み

【外国人材の雇用】

介護部門では常時200名の外国人介護職員を雇用し、そのうち1%は副施設長以上の管理職として活躍できる環境づくりを目指す

【おむつ廃棄量の削減】

個々に合った大人用おむつを利用することで廃棄量を削減し、ご利用者様の睡眠の質の向上、職員負担軽減を目指す

【介護相談会・地域交流の促進】

介護をテーマとした無料相談会やセミナーを開催し、地域交流により地域課題・社会課題の解決に貢献します。

ウェルビーイング

すべてのステークホルダーの幸せを追求

人材育成と多様性

外国人介護職員の活躍支援と女性管理職の増加

環境・資源への配慮

廃棄物削減と地域環境活動の推進

地域貢献と交流

介護セミナーの開催と地域課題の解決

コンプライアンスの徹底

法令遵守と倫理的経営の実践

